

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	サスティナブル情報デザイン小委員会		主 査 名：渡邊 朗子 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会		委員長名：倉田 成人
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>現在、ビッグデータ社会の到来などを背景として、形や構造だけでなく「情報(の流れ)」も含めてデザインし、それを継続可能な活動(事業)に結び付けていくことが、強く期待されている。その一方で、この分野に対する建築領域からの発信は十分ではないのが現状である。本委員会は、情報システム技術を含む諸技術および情報そのものを用いて、持続可能なサスティナブルな建築および施設デザインのあり方の探求を目的として設置するものである。</p> <p>初年度：サスティナブルに情報を活用した建築の概念のひとつとして、生命に学ぶ建築の在り方を提示する書物の出版および、その概念・事例の発表 2年度：上記の検証</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	<p>主査：渡邊 朗子(東京電機大学) 幹事：本江 正茂(東北大学) 委員：仲 隆介(京都工芸繊維大学)、清水 友理(大成建設)、石川 敦雄(竹中工務店)、 鯨井 康志(岡村製作所)、菅野 文恵(ゼロイン)、横山 広大(東急建設)、岸本 充弘 (InflectionNet)、廣瀬 啓一(清水建設)、朝山 秀一(東京電機大学)、山本 尚明(パナソニック)、掛井 秀一(徳島大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>FM デザイン WG： 情報の授受を主たる機能とする施設を対象とし、ICT を手段として活用しつつ、適切な情報の流れを作り出すことを目的として実践されているファシリティのデザインおよびマネジメントについて、事例の調査に基づいて、上位小委員会のコンセプトワークを具体化する知見を収集、整理することを目的とする。</p>		
2016 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	12 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第16回ファシリティマネジメント・シンポジウム「FMによる、つくりにくい [] づくり」 参加者数 63名 『同名資料』
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 著書『生命に学ぶ建築』(仮称) 出版に向けて活発に活動を進め、今年度内(3月中旬)にレイアウト原稿を査読に提出する予定である。 2. 第16回ファシリティマネジメント・シンポジウムの企画・実施
委員会活動の問題点・課題	1. 来年度中に著書『生命に学ぶ建築』(仮称) を出版できるようさらに活動を強化していく。
その他	